

# かぎた 美智子

Kagita Michiko



当初予算可決

増額否決

## アクセルとブレーキ踏む議会

### 鍵田の主張

- ▶発掘調査、廃棄物の搬出、教室移動等を終えた段階であり、教育現場に多大な影響を及ぼす
- ▶両地域の痛みを理解した上で、子供達が現在置かれている環境に配慮し、奈良市は説明責任を果たして行くべき
- ▶工事を先延ばしする事、また設計変更を新たに行う事は、更なる予算増と工期の遅れとなる
- ▶全会一致で可決した建設の是非にまで議論を戻すのは議会の機能不全

### 市議会から出た反対意見

- ▶一つの学校を建てるにはあまりにも高額
- ▶贅沢ではないか
- ▶見直して開校スケジュールを遅らせばいい
- ▶51億円の規模で建てることも検討



市は少子化や人口減少などを受けて学校規模適正化計画に基づき、鼓阪、佐保の両小の子どもたちの学ぶ環境を整えるため、現在の佐保小を文科省の指針

に沿った新しい校舎を建設します。この是非と約51億円の事業費は、市議会3月定例会で全会一致の可決をしています。しかし8月に行われた工事の入札では、資材費や人件費などの高騰を理由に参加業者が辞退する「入札不調」になりました。これを受けて市は市議会9月定例会に約12億円の事業費の追加を盛り込む補正予算案を提出し、市議会はこれを審議しま

(裏面へ続く)

鼓阪小と佐保小を統合して令和8年度に開校する新たな小学校Ⅱイメージ参照Ⅱを建設する費用が、物価高で不足していることを受けて市は、市議会9月定例会に予算を増額する議案を提出しました。しかし市議会は当初予算で認められた建設の是非にまで議論を広げ、この補正予算を否決。開校の遅れが懸念されており、私は「子どもたちの学校生活が、政局に巻き込まれてはいけぬ」と主張しました。

## 鼓阪小と佐保小の統合、物価高で新校舎建設費用不足 建設の是非にまで議論拡大、開校の遅れ懸念

審議のポイントⅡ参照Ⅱは、約12億円の事業費の追加が資材や人件費などの高騰、社会情勢を受けてのものかを見極めるのみと私は考えます。しかし、市議会は「二つの学校を建てるには高い」「贅沢ではないか」「積算に疑義がある」などと指摘。市議会3月定例会で可決したはずの建設の是非にまで、時間を巻き戻す事態になりました。



近年の予測超える建築資材の高騰

置き去りにされた児童と地元

(表面から続く)

新しい佐保小の建設費は1平方メートルあたり52万7000円でしたが、市が設計を見直し増額を願った額は66万2000円です。「贅沢ではないか」「高過ぎる」などと一部の市議が指摘した件について市は「新しい佐保小が特別仕様になっていくわけではない」と答弁しました。また文科省が求める新しい小学校の機能「写真上、ならやま小中学校参照」に基づいてい

ることも説明。市が建設している一条中高「写真下参照」の令和4年度当時の平米単価(37万6000円)と比較すると、佐保小は43万2000円と試算され、差額は少なく、佐保小校舎は体育館と一体の構造になっており、ため平米単価がやや割高になるとし、一部の市議が異論を唱えた。指摘は否定されました。市が求めた建設予算の増額は「近年の予測を超える建築資材の高騰」と結論付けられましたが、審議の結果、市議会はこの事業を市長との政局に持ち込む「反対するための道具」に使った側面を否定できません。

この新しい小学校の建設実現のため、地元の自治会や両小の関係者は、「痛み」を超えて「子どものため」を優先し、両地域の垣根を越えてさまざまな協議に取り組んでくださいました。子どもたちの将来や学校生活に影響するこの事業は、党利党略や仲川元庸市長に対する「与党」「野党」のような考えではなく、政治的スタンスは捨て去り、地元の「痛み」に寄り添うことが市議の努めだと考えます。

令和8年度開校の当初のスケジュールに遅れが生じないよう市と協力しながら地元の理解と協力を深める事に力を尽くして行きたいと考えています。



合併後の奈良市で初めての決算不認定

無理や無駄だけでなく、未来への投資を

市議会9月定例会では、昨年度の市の予算の使い方が適正だったかをチェックする決算審査が行われ、市議会は合併後の奈良市で初めて決算を不認定としました。

市議会の9月定例会で、市議会は「無駄」などの指摘がありました。私は「無理や無駄」に対して厳しいチェックはもちろんです。未来に対する投資的目線が必要を感じています。

整備進む「鴻ノ池運動公園及び旧奈良監獄連携プロジェクト」

国の交付金や寄附活用、エリア一帯の魅力さらに

奈良市は、鴻ノ池陸上運動公園と、旧奈良監獄を活用してオープンするホテル周辺を一体的に整備を進める「鴻ノ池運動公園及び旧奈良監獄連携プロジェクト」に取り組んでいます。

プロジェクトは国の地方創生拠点整備交付金や地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)、民間事業者からい

ただく寄附を活用して進め、エリア一帯の魅力をさらに高めるものです。

今年度は現在、運動公園の駐車場や園路整備=写真左参照=、みどりの丘整備の工事が進められています。また奈良監獄周辺道路の整備も進み=写真右参照=、日本初の監獄ホテルは2026年春にオープンする予定です。



今後これらを精査し、「いつも、いつでも市民目線」で取り組んでまいります。

市内中学校施設(体育館)の空調設備導入

充実を求める意見書提出

私が所属する市議会は、夏の暑さが年々厳しさを増す子どもたちの健康維持のため、市議会9月定例会で、市内の学校施設(体育館)への空調設備の導入等設備の充実を求める意見書を提出しました。